

大丈夫ですか？

下肢閉塞性動脈硬化症は動脈硬化により下肢動脈が狭窄や閉塞する病気です。

【症状】

足のしびれ、冷感、歩行時の痛み(間欠性跛行)、安静時疼痛、潰瘍、壊疽

これらは生活の質(QOL)を低下させるだけではなく、生命予後も悪化させます。

【初期検査】

上下肢の血圧比を測定するABI検査、皮膚灌流圧(SPP)を測定することで簡単に診断できます。

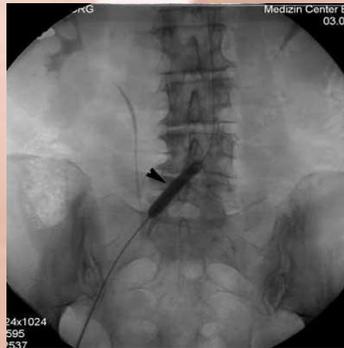
【画像検査】

下肢エコー、CT、MRI、血管造影検査などで血管を観察し狭い箇所を見つけます。

【治療】

薬物療法、運動療法、カテーテル治療、バイパス手術などが選択されます。

【血管内カテーテル治療例】



当院では**循環器内科**(スクリーニング、薬物療法、運動療法<運動処方箋、外来リハビリ>、和温療法、血管内カテーテル治療)、**血管外科**(バイパス手術)、**形成外科**(創傷管理)、**フットケア外来**と各科が密に連携して**包括的に下肢治療**を行っています。またこのような患者様は全身の動脈硬化(脳、心臓)も進行している可能性が高く、全身動脈硬化に対するスクリーニングも併せて行います。

足が痛い、下肢の潰瘍などの外来受診、お問い合わせは

福岡大学病院循環器内科ハートセンター

下肢血管外来: 火曜午前<福田>、水曜午後<杉原>

担当医師: 杉原、福田

[TEL:092-801-1011](tel:092-801-1011)



* 患者様のご都合により、月曜、木曜も対応できますのでお気軽にご相談ください。